

(令和2年4月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	4月は、鮮魚、冷凍魚、加工水産物全てで入荷が減少したことから総入荷量は前年同月比で21%下回った。総取扱金額は新型コロナウイルス感染拡大の影響で業務用の需要が低迷したことから前年同月比で38%下回った。 5月は、いさきの入荷が本格化する。この時期のいさきは産卵のために身が肥え、脂ものり非常に美味である。癖のない上品な白身のためどんな料理にも合う万能な魚である。皮目に塩を振り炙る、「イサキの炙り」は脂の甘さと炙った皮の香ばしさが引きたち美味しいため、是非御賞味いただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で21%下回ったが、単価は需要が低迷したことから28%下回った。 品目別には、さわらの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。まだい（天然）、あまだいなどの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で34%下回ったが、単価は需要が低迷したことから3%下回った。 品目別には、冷さけの入荷量は前年同月を下回ったが、需要が低迷したことから単価は下回った。冷たらの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で15%下回ったが、単価は需要が低迷したことから17%下回った。 品目別には、塩さば、すけそうこの入荷量は前年同月を下回ったが、需要が低迷したことから単価は下回った。

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で３３％下回ったが、単価は品質の良いものの入荷が少なかったことから４％下回った。
ま い わ し	石川、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で２０％下回ったが、単価は需要が低迷したことから１６％下回った。
さ ば	三重で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で２０％下回ったが、単価は中小型主体の入荷となったことから前年同月並みとなった。
す る め い か	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で３３６％上回り、単価は９％下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で４０％下回ったが、単価は需要が低迷したことから６％下回った。
び ん ち ょ う	千葉、鹿児島、宮崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で４６％下回ったが、単価は需要が低迷したことから前年同月並みとなった。
あ ま だ い	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で３５％下回ったが、単価は需要が低迷したことから２４％下回った。

※太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば	入荷量は前年同月比で４％下回ったが、単価は中小型主体の入荷となったため６％下回った。
冷 する め い か	入荷量は前年同月比で８６％下回り、単価は３２％上回った。
(加工水産物) 塩 さ ば	入荷量は前年同月比で２４％下回ったが、単価は需要が低迷したことから２４％下回った。
ち り め ん	入荷量は前年同月比で２４％下回ったが、単価は品質の良いものの入荷が少なかったことから５６％下回った。